

要求工学シンポジウム RE2014 開催

平成 26 年 6 月 13 日(金)、JJK 会館にて技術強化委員会 要求工学推進部会(青山幹雄、南山大学教授)主催、「要求工学シンポジウム RE2014」が開催された。参加者は 84 名。当日は本年 3 月に発刊された「要求工学実践ガイド(近代科学社刊)」の内容をもとに、各章の執筆者 7 名による講演が行われた。



■講演プログラム

講演タイトル／講師	
要求工学知識体系(REBOK®)に基づく要求工学入門	中谷多哉子(筑波大学)
ステークホルダ分析の実践	位野木万里(工学院大学)
NTT データにおける要求開発の実践手法：TERASOLUNA®と MOYA®	齋藤忍(NTT データ)
富士通における要件定義手法：Tri-shaping®	森田功・鈴木佐知子(富士通)
日立ソリューションズの要求開発手法 "HyThology®～社内・社外への展開戦略～	齋藤宏海(日立ソリューションズ)
野村総合研究所における情報化企画方法論：SC7M®と超上流工程での実践事例	小部山知伸(野村総合研究所)
組込みプロダクト開発における要求工学の実践	有本和樹(リコーIT ソリューションズ)

各セッションのいずれにおいても、質疑が活発に行われ、講演終了後の情報交換パーティも盛況であった。要求工学を開発の現場で実践するのに有力な情報が入手できた、シンポジウムの定期的な開催を希望するなど、参加者からは前向きな意見が多く聞かれた。

(鈴木)